

令和6年度 学校評価アンケートについて

○：よい点
●：課題
☆：昨年度との比較

1 充実した学校生活の実現に関する質問（質問1～5）について

<分析>

- 質問2については、教職員・生徒について肯定的な回答が90%を超えました。
- 教職員については、生徒・保護者に比べて全体的に肯定的な回答が多い傾向にありました。
- 生徒については、全体的に肯定的な回答が8割未満となりました。また、昨年度と比べても肯定的な回答が減少し、「分からない」と回答する項目が増加しました。
- ☆ 昨年度に比べて、全体的に保護者で「分からない」の割合が減少した傾向が見られました。

<回答>

- ・ 昨年度に引き続き、「学校祭などの行事に主体的に取り組むことができた」と回答する生徒が多くいました。引き続き、生徒が主体的に考え、互いに認め合うことができる学校行事づくりに努めます。
- ・ 全体的に、教職員で肯定的な回答が多かったにも関わらず、生徒では昨年度と比べ、減少する項目がありました。今後、どの生徒にとっても学校生活が充実したものになるように、より一層の環境・関係づくりに努めます。
- ・ さまざまな取組の様子をおたよりやホームページでの発信に努めた結果、保護者の肯定的な回答のポイントが、昨年度に比べて上昇しました。今後も引き続き、学校での取組の様子について、分かりやすくお伝えしていきます。

2 授業や学習に関する質問（質問6～9）について

<分析>

- 質問8については、生徒では一定の成果を感じている傾向が見られました。一方、保護者については、「分からない」という回答が多く見られました。
- 昨年度と同様、教職員・保護者について、肯定的な回答の多くが80%に満たない結果となりました。特に家庭学習に対しては、生徒も含めて課題と感じている傾向が見られました。
- ☆ 質問7については、教職員では肯定的な回答が昨年度に比べて18.9ポイント増加しましたが、生徒・保護者では減少しました（生徒-3.9、保護者-9.0）。

<回答>

- ・ 生徒はタブレット端末を有効に活用して、より自分に合った学習を進められたことが分かりました。引き続き、ICT機器をより適切に活用した授業づくりを進めます。
- ・ 家庭での自主的な学習については昨年度に引き続き、三者が十分な取組に至っていないと感じていることが分かりました。家庭学習と授業がより深くつながり、生徒がより主体的に自身の学習を調整・決定できる学び方について、さらに検討を進めます。
- ・ 今年度、教員同士で積極的に研修を深め、よりよい授業づくりを実施してまいりました。昨年度との比較から「自ら学習を調整・決定できた」という手ごたえを感じられていない生徒が依然多くいることが分かりました。引き続き教員研修を深め、より生徒が自ら学習を調整・決定し、主体的な学びが進められるような授業づくりに努めます。

3 生活や部活動に関する質問（質問10～15）について

<分析>

- 教職員・生徒については、全体的に90%を超える肯定的な回答が多く見られました。一方、保護者については、多くの質問に対して肯定的な回答が80%に満たない結果となりました。しかし三者とも、多くの項目で、昨年度に比べて肯定的な回答が増加しました。
- 質問12については、肯定的な回答が保護者では80%以下となっているものの、生徒は90%以上となりました。
- 質問16では肯定的な回答が、保護者では80%以上であったのに対し、教職員・生徒ではともに70%に満たない結果となりました。
- ☆ 質問15については、肯定的な回答が保護者で90%を越えました。また、昨年度に比べ、生徒の肯定的な回答も7.3ポイント増加しました。

<回答>

- ・ 昨年度に引き続き、多くの生徒がさまざまなルールやマナーを意識して生活していること、また、教職員も高い意識をもって生徒と向き合っていることが分かりました。引き続き、生徒が望ましい成長を遂げられるように進めてまいります。
- ・ 多くの生徒はインターネットの危険性に注意しながらデジタル機器を使用していることが分かりました。これは学校だけでなく、ご家庭でデジタル機器の活用について、十分にご指導いただいているおかげだと思います。引き続き家庭と学校が連携しながら、子どもたちのデジタル社会での望ましい生き方について進めてまいります。
- ・ 昨年度に比べて、生徒・保護者がより積極的に学校から発信する情報を活用していただいていることが分かりました。今後も学校生活の様子について積極的な発信に努めます。
- ・ さまざまなボランティアをはじめとする保護者・地域の方々のサポートに対して、教職員・生徒があまり協力できていないことが分かりました。子どもたちの学校生活がより充実するように、学校に関わってくださる多くの方々との一層の連携を図ります。

4 在校時間、働き方に関する質問（質問18※教員のみ）について

- ・ 本校の教職員は、「多様な『幸せ』実現」に向けて、日々精力的に業務に励んでおります。業務のデジタル化などを進めることで効率化を図り、教職員にとっての「多様な『幸せ』実現」にも取り組んでおります。その成果として教職員の取組も、昨年度に比べて、30ポイント近く向上が見られました。子どもたちの健全な成長を支えるために、教職員が働きやすい職場づくりを進めてまいります。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。